

【保護者・地域の願い】

- ・ 学力向上
- ・ チャレンジ精神の醸成
- ・ 思いやりの心の醸成
- ・ 心身の健康の維持
- ・ 地域のよさが分かる

【教育目標】

考える子 思いやる子 やり抜く子

【児童の実態】

- ・ 明朗活発である
- ・ 謙虚、素直である
- ・ 自己有用感が弱い
- ・ 関係性構築に向けての体験や経験が不足している

【基本方針】

地域とかかわり、なりたい自分（目標）を目指して、チャレンジする子どもの育成

知の重点目標

しっかり読み、じっくり考え、
進んで表現する子「やりたい・やる・できた」

徳の重点目標

あいさつや優しい言葉を交わし合い、
相手を思いやる子「優しくされた・認められた・役立った喜び」

体の重点目標

自身の健康に関心をもち、めあてを
もって運動をやり抜く子「やりとげた・伸びた喜び」

方策

- 地域人材や地域教材を積極的に取り入れ、地域貢献の芽を育む授業展開を図る。（郷土愛）
- ICTを活用しながら、自分の考えや思いを伝え合う場面に授業に位置付ける。（かかわる力）
- 「やりたい・やる・できた・分かった」を児童に自覚させるために、課題とまとめと振り返りを一体化した授業づくりを行う。（みつめる力）
- いがた学びチャレンジや国・算の評価前に確認プリント等で振り返りを行い、基礎的・基本的内容の確実な定着を図る。（やり抜く力）
- コグトレを活用し、読解力や認知機能の向上を図る。（やり抜く力）
- 生活習慣の改善を図るパワーアップ週間と家庭学習強調週間をタイアップして行い、望ましい学習習慣の基盤を育成する。（やり抜く力）

方策

- 地域の人とかかわることで地域のよさを知り、自分と地域のかかわり方について考える指導を重視する。（郷土愛）
- 学期1回のあいさつ運動や家庭と連携したあいさつの取組を行ったり、スキルトレーニング等を取り入れた活動の場を設定したりすることであいさつや思いやりある行動への意識を高める。（かかわる力）
- 思いやりの心をもち、多様性を受け入れ、互いの立場を尊重した指導を重視する。（かかわる力）
- 学級活動やファミリー活動、児童会活動等で、優しい言葉づかいの大切さを認識し、他者意識を醸成する場を設定する。（みつめる力）
- 定期的な児童アンケートに基づく教育相談を丁寧に行うとともに、児童個々の心の変化に組織的に対応する意識をもつ。（みつめる力）
- 清掃活動で、役割分担を確実にし、時間いっぱいまでやり抜く清掃を実施する。（やり抜く力）
- キャリアパスポートの活用を丁寧に行い、どの子どもにも夢や憧れをもたせる。（夢をおこす力）

方策

- 体力テスト練習やなわとびタイム等、異学年でかかわり合いながら体力向上を図る場を位置付ける。（かかわる力）
- 運動のめあてを立て、自己の運動を振り返る場を設定する。（みつめる力）
- 体力テスト結果において低かった項目の向上を目指し、体育授業導入時に、体力向上のための補助運動を取り入れる。（やり抜く力）
- 体力向上及び生活習慣改善に向け、就寝時刻やメディア時間を含めた個人の生活目標を決める機会を設定するとともに取組カードへの記入を通して取組を支援する。（パワーアップ週間）（みつめる力、やり抜く力）

知の達成目標

- ◎ 学校生活アンケートで「国語の授業中、自分の考えを伝えることができる」と答える児童の割合を70%以上にする。
- ◎ 国語ワークテストの「思考・判断・表現」の観点で、到達目標を達成できた児童の割合を80%以上にする。

徳の達成目標

- ◎ 友達や家族、先生に温かい言葉掛け（おはよう、こんにちは、ありがとう等）をすることができる児童を80%以上にする。
- ◎ 学校生活アンケート「学校が楽しい」と感じている児童を80%以上にする。

体の達成目標

- ◎ 握力で県平均または自己の記録を超える児童の割合を80%以上にする。
- ◎ パワーアップ週間の期間中4日以上自分で決めた就寝・メディアをやめる時刻を達成できた児童の割合を、80%以上にする。

学校運営協議会の評価を生かした教育活動の推進

～保・小・中の連携～
保育園・こども園との連携・就学支援
吉田中学校区への取組の充実

～保護者との連携～
PTA活動の工夫
各種たよりや配信メール・HPによる情報発信

～地域とともに（コミュニティ・スクールの推進）～
見守り隊や保護者と連携した登下校の安全確保
協働ボランティアや地域素材や人材の活用

【子どもたちに付けたい5つの力 + 1】

郷土愛（あい）

かかわる力（ひと）

みつめる力（じぶん）

やり抜く力（いきる）

夢をおこす力（みらい）

+ ま～るい心

【目指す学校像】 笑顔・励まし・向上がいっぱいの吉田北小

